

西暦2017年6月6日

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

現在、腎臓内科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、本学倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 透析導入期における IgA 腎症患者の過去のステロイド投与の影響

[研究対象者]

当科で IgA 腎症と診断された方のなかで 1990 年 1 月から 2015 年 12 月までの間に末期腎不全（透析開始、腎移植施行）となった方で末期腎不全時 20 歳以上の方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、性別、身長、体重、血圧、末期腎不全時の全身状態（内服薬、ステロイドの副作用や透析導入理由、依存症等）、検査結果（血液検査、尿検査、心エコー検査他末期腎不全時に施行された検査等）

[利用の目的] （遺伝子解析研究：無）

IgA 腎症原疾患で末期腎不全（透析導入、腎移植施行）になった方の末期腎不全時の過去のステロイド治療の影響（副作用）を解明することを目的としております。

[利用期間] 平成29年3月より平成30年3月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には**匿名化処理を行い**、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 腎臓内科 教授・講座主任 新田孝作

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 腎臓内科 森山 能仁

電話：03-3353-8111（内線 33331）（応対可能時間：平日9時～16時）

ファックス：03-3356-0293 Eメール：takamori@twmu.ac.jp